

はー……相変わらず気持ちいいー……。

ここの温泉、ボクたち以外知らないと思ってたけど……誰か来てるのかな？

じゃないと、こんなにキレイなまんまってワケないよね？

……にしても……。

お前、ちょっと見ない間に、結構おっきくなったなー。

最近全然森に来てくれないから、退屈してたんだよ。

街の方で、なんかあったか？

……ふーん……人間ってのは、色々大変なんだな……。

ボクにはよく分かんないや……。

……ん？ ボク？

そーだなあ……。

別に大して何も変わったことはないっていうか……。

あー、昔一緒に遊んでたシロスケっていただろ？

あいつ、隣の群れのメスに求婚してくるとか言って飛び出してって……。

一目ぼれって言うんだっけ？

まー、オスのそういう気持ちはボクにはよく分かんないけど、あれから手紙もないらしいんだよなー。

ちょっと心配。

……ん？

なんだ、ヤキモチか〜？

ボクはシロスケには興味ないよ。

あいつがいつでもメスにいじわるしてたの、お前も知ってるだろ？

ボクは、乱暴なオス、嫌いな。

お前が一番よく分かってるだろ？

……ってかさー……。

……さっきから、なーんか、距離遠くないか？

もしかしてお前、ボクのこと、メスとして意識してる？

うお……！？

すっげー……ちんちんおっきくなってる……！

冗談のつもりだったけど……これ、本当に興奮してるってこと、だよな……？

ボクの胸が想像してたよりおっきくなってたからだろ？

分かるよ。

ここ1年くらいで、ボクでもびっくりするくらい育っちゃったんだもん。

群れのみんなにもおっぱいおっきいってからかわれるくらいだし。

ふふっ……お前も大人になったってこと、だな……。

……なー。

ボクもさ……大人ってのに……ちょっとくらいは興味、あるんだけど……。

……手で、ちんちんを……？

ふーん……そんなのが気持ちいいのか？

じゃあシてあげるけど……。

ボク、そういうのシたことないから、痛かったら言ってよ？

……こう、か……？

……ふーん……気持ちいいんだ……変なの……。

……へへ……でも、覚えたぞ。

お前が好きなの……。

これくらいなら、いつでもシてやる。

……いつでもは困るのか……なんでだ？

ちんちんがカタくなったときに、こうやってシュッシュってするだけだろ？

……いいじゃんか、別に見られても。

オスが勝手に発情しちまうのは仕方ないことだし……。

それに……ボクも……。

お前が相手なら……色々シてやってもいいかな、みたいな……。

……んうう……。

だってしょーがねーだろ……。

こんなスゴいの見せつけられたらよー……。

ボクだって、その……お前と同じくらいには、ちゃんとメスなわけだし……。

さっきまで全然そんなつもりなかったのに、お前のコレ見てたら……。

ちゃんとお前もオスなんだって思っちゃって……。

一緒に温泉入ってたの、めっちゃ恥ずかしくなってきたんだから……。

……ん……。

好きとかどーとか分かんないけど……。

お前となら、交尾しちゃってもいいかなって……。

あ、ほら！

お前だってこんな状態で里に戻れないだろ？

人間のオスはちんちんおっきくなったままじゃ、服の外も丸見えて恥ずかしいぞ？

それならさ、ほら、ボクのおっぱい見てこんなになっちゃったわけだし……。

幼馴染のボクが！

責任もって、ちんちんちっちゃくしてやないと、だろ？

……ふえ……？

おっぱいでコレを……？

ん……言ってることは分かるけど……。

……こういうことだろ？

おっぱいの間に、ちんちん挟む、みたいな……。

……手でシたアレが気持ちいいなら……。

こうしてやればいい、ってことだよな……。

んっ……ッは一……ふー……これで、どうだ？

へへっ……すんげー気持ちよさそ……。

おっぱいでちんちんコスられて、そんなに嬉しいか？

まー、さっきの手のやつならどこでもシてやれるけど、これはちょっと難しいよなー。

ボクも服脱がなきゃだし〜……。

んっ、ッふー……ってか……ッう……ボクもおっぱい刺激されてッ……んんっ……。

なんかッ……気持ちいい、かもお……。

ッはあ……んんっ……おっぱいってえ……揉むとこんなに気持ちいいんだあ……。

んう、ッは一……ッあ……んんっ……。

んえ……？

濡れた毛でされんのがイイのか……？

ふーん……じゃあ、ボクじゃなくて他のメスにシてもらっても嬉しいんだ？

オスはちんちん気持ちよくしてもらえるなら、どんなメスでもいいって聞いたことあるしなー……。

……そっかあ、ボクだから、なんだあ……。

ホントーかあ？

ボクに気持ちよくしてほしいからって、テキトー言ってるんじゃないだろーなあ……？

んっ、ッは一……ふー……ッう……んんっ……へへ……。

ボクも……お前にだからこんなことしてやんだぞ……。

悦べよッ……んんっ……っは一……。

当たり前だろー？

他のオスになんて……こんなのシてやっても仕方ないしい……。

んう……っは一……。

子どもの頃から一緒にいるお前だからッ……んんっ……。

いっぱい喜ばせたりっ、楽しませたりしてやりたい……ッは一……。

んっ、ッう……んはあ……。

ちょっとくらい恥ずかしいことだってデキちゃうんだからっ……。

っは一……ッあ……んんっ……。

んえ……？

出るって……何があ……？

え、お前、おしっこしちゃダメだぞ？

おい、バカ待てっ……！

うおっ……！？

え……なんだこれ……。

すんすん……うわ、すっげ……。

なんだこのエロいニオイ……。

くんくん……んはあ……。

そっかあ……これが……精子……。

オスの……子種汁なのか……。

……へへ……ってことはあ……。

これ、ボクの中に出したら……お前との赤ちゃん、デキちゃうんだな……？

……なー……。

ボク、なんかおかしいんだよお……。

顔にお前の精子ぶっかけられたせいでえ……。

ココ……すごく熱くなってえ……。

……奥まで、カタいのでずぼずぼされたくなくてんだ……。

それってさあ……。

お前のちんちん、ココに突っ込んで、交尾しちやいたってコトだよなあ……？

……へへ……その気になってくれたか？

じゃー……まだまだガチガチのそれ……ココにくれよお……。

ボクの初めて、お前にやるからあ……。

ちんちん突っ込んで、いっぱい交尾して――

んううッ……！

ッはー……ッおあ……すげ……ッあ……これが……交尾い……？

んんっ、っはー……気持ちいいな……ッはー……。

ボクが欲しいとこまで……ちんちんハマり込んでっ……っはー……。

奥でビクビクしてんの、よく分かるぞ……。

……あー、動け……。

お前が気持ちよくなれるように、いっぱいシてくれて構わないから……。

ッう……んんっ、ッあ……っはー……イイ……これ、気持ちいいっ……。

んあ……ああ……初めて交尾するときってッ……っはー……。

痛いって聞いてたけどお……んっ、ッはー……。

全然ッ、痛くないっつーかっ……っあ……気持ちいい方がッ……上……！

お前とだから、かなあ……んっ、ッはー……。

んあっ……ッう……んはあ……んー、ッあ……っはー……。

尻にッ、んっ、っはー……お前の腰がッ、パンパン当たってえっ……。

ッう……んんっ……気持ちいいのがッ、ッおお……！

背骨通って頭まで響いていくるう……！

んあっ……イイっ……お前のちんちんっ、気持ちいいッ……！

んいいい……だめっ……ッお……尻尾撫でるなバカあ……ッう……んおお……！
んひっ、ッうああ……ボクっ……ッああ……尻尾弱いって知ってるだろおっ……！
ッおっ……ダメっ、なんだってばあっ、ッおあ……。
ちんちんしながら尻尾撫でんの禁止ッ……。

ッうう……！
んおあっ、ッは一つ、ッう、んんっ……！
ダメっ……ッあっ……感じすぎるッ……んひっ、ッああ……！
気持ちよくなりすぎてッ……んあっ……変な声出ちゃうからあっ……！

んあっ、ッは一つ、ッう、んんっ、ッあっ、ッおお……！
んおっ、おああっ、あう……ッは一つ、ッああ……！
い、イヤじゃ、ないけどおっ、んっ、こんなにされたらっ、ッあ……んは一つ、ッうう……！
ボクっ……っあっ……ボクがボクじゃっ……なくなっちゃいそッ……！
ッあっ、んは一つ、ッう、んんっ、ッあっ……っは一……。

っは一……んは一……そっ、んんっ……！
ちんちんずぼずぼだけでっ、ッは一……充分気持ちいいからあ……。
尻尾はやめてくれよなっ……。
んっ、ッは一……ッう……んんっ……。

んん……いいぞお……。
お前が好きなように動けばっ……っは一……。
ボクのことは気にせずっ……お前が気持ちいいように動いてくれればそれでっ……。

んんん……ッは一つ、ッう、んんっ……。
ッあっ……ッう、んんっ、ッああ……やっ……ッおああ……！

んはあっ……ダメっ、ッう……んんっ……おっぱい揉むなッ、っああ……。
そこっ……っは一つ、さっきお前のちんちん挟んだトコだぞっ……。
っあっ……ボクはっ、ッああ……お前のニオイいっぱい感じられて嬉しいけどッ……。
んんっ……っは一つ……お前の手にッ……ちんちんのニオイ移るッ……！
ッあっ……んんっ……！

ううっ……うるさいッ……！
お前がこんなに気持ちいい交尾するからだろおっ……！

っあっ……ボクだってえっ……んうっ……メスのニオイふりまいちゃうよおっ……！
あんっ、ツうっ、んはあっ……おまんここんなに感じさせられたらあっ……っああ……。
このオスのモノだってえっ……ッはあっ……みんなにアピールしたくなっちゃうんだッ…
…！
お前のせいっ……全部ッ……気持ちいいのもおっ……！
ボクが発情したものっ……全部お前のせいだからあっ……！
責任取れよっ……！

ッおっ……んおっ、イっ、ぎもちいっ……好きっ……！
お前ッ……っおっ、ちんちんっ、気持ちよすぎッ、ッおお……！
おっほッ、んおっ、イグっ……らめっ、ッお、おまんこ壊れるッ……！
っおっ、イイっ、ッおっ、交尾気持ちいいッ、ッおっ、好きッ……！
お前のこと好きッ、っおっ、イグっ、おまんこイクっ……！
おっ、おっほッ……出せッ、っおっ、精子っ、ボクの中に全部ッ……！
ッおっ……イグっ……イクイクイクイクっ……！！

んおおお……お……イイっ……ッああ……！

ッはー……ッはー……。

……待て……もうちょっとこのまま……抜かずにいてくれ……。

んあああ……抜くなって言っただのにい……。

ッはー……はー……。

へへ……。

お前、中に出したなー？
ってことは、ボクとつがいになってくれるんだろ？

……え？
ボクらは、交尾して中に出したら、一生を添い遂げるのがフツーなんだけど……。

……お前もそれ、ちゃんと守ってくれるよなー？

……へー、お前の家、こんなところだったっけ。

……ま、今日からはボク『だけ』が、お前の家族、だけどなっ！

へへっ……今、またスケベなコト考えただろ……。

分かるんだよなー、オスのそういう表情ってさー。

ちんちん気持ちよくしてくれ、みたいな？

んー、おじゃましまーす……。

すううう……。

んはー……お前のニオイでいっぱいだな……。

……んー、分かるぞ？

だって、ボクにたっぷり種付けした、旦那様のニオイだからな？

へへへっ……。

なーに恥ずかしがってんだよっ。

これから毎日、赤ちゃんデキるまで交尾しまくるんだろー？

それに、もっとちっちゃいころから、お互いの恥ずかしいところ見まくった仲じゃないか。

昔、お前がボクにちんちん付いてないって言って、おまんこ雑に触ってきたのとか覚え——
むぐッ……！？

んむう……んぐッ……んむんむ……！

ッはー……！

なんだよ、ホントのことじゃんか！

……ボクの口、ふさぎたいときはだなー……。

こーやって……口使って、ちゅーってすればいいだろ……。

ちゅ……ちゅっちゅ……ちゅう……。

ぬちゅう……れちゅ……ずちゅずちゅ……ちゅちゅうう……ずちゅる……ちゅちゅ……。

ぬちゅぬちゅ……んはあ……ぢゅぢゅ……れりゅれりゅ、ぬちゅるう……。
ぢゅば……ずぢゅずぢゅ……れぢゅ、ずぢゅるうう……ぢゅっぢゅ……。

んは一……。

へへ……ちゅーって、好きなヤツ同士でしかしちゃダメって言われてたからな……。
ボクはお前のこと好きだったけど、お前がどうか分かんなかったし……。
だからずーっとこういうの出来なくて……ガマンしてたんだぞ、バカ……。

れぢゅうう……ぢゅっぢゅ、ぬちゅうう……ぢゅばぢゅば……ずぢゅうう……。

……な一……玄関じゃなくて……布団行こうよ……。
ボクのも……いっぱい気持ちよくしてほしい……。

んは一……ッは一……お顔乗っちゃって、悪いんだけどお……。
おまんこ、舐めてほしいの……。
ボクらはあ……んはあ……オスがやりたいときにい……メスのおまんこぺろぺろするのが
普通なんだよ？
みんな舐めてもらって、すっごく気持ちよさそうだからあ……。
お願い……されてみたいの……おまんこぺろぺろ……。

ん……おけけが口に入らないように気を付けてね……。

ッうう……！
んあっ、ッは一……それっ、気持ちいいッ……っああ……。
こんなにッ……んんっ……ッあ……お前にシてもらえるの……興奮するんだあ……。
ッう……んっ、ッああ……イツ……んおお……！
精子ッ……逆流しちゃったらごめんねえっ……ッう……んんっ……。
でもおっ……お前にッ、これしてもらえてえっ……ッは一つ、んんっ……すっごくっ……嬉
しいッ……ッああ……。んはあっ……ッおあ……んっ、ッは一……。
気持ちいいッ……っあ……んは一つ、ッう……んんっ……ッはあ……ごめっ……。

おまんこッ……押し付けちゃうけどっ……ッは一つ、ッああ……！
いいよなっ……んっ、ボクっ……お前のお嫁さんだからあっ……。
ッは一つ……エッチにっ……おまんこシてほしくなっちゃってもおっ……。
恥ずかしいトコ見せつけちゃってもッ……いいよなあっ……！

んあっ、ツは一つ、ツう……んんっ……好きっ……ツあ……！
そこっ、敏感なとちゅぱちゅぱしてっ……ツあっ……んは一つ、ツう、んんっ……！
ツあっ、うんっ……んっ、そのぷくってしたとこっ……ツは一……。
お前のこと思いながらツ、っああ……爪でカリカリしたらあっ……！
んあ……ゾクゾクしてツ……すっげー気持ちいいんだツ……！
っは一……お前にツ、してもらえたほうがツ……っあっ……ん……全然ツ、はるかに気持ち
よくてえっ……！
ツう、んんっ、ツあっ……イっちゃうかもっ……！
んっ、おまんこぺろぺろしてもらってツ、ツあっ……イクっ……んっ……！
気持ちいいのキちゃうっ……っあっ……好きっ……！
それイイのっ……んはっ、ツあっ、イクっ……おまんこイクっ……！
んっ、ツあ……。

ツあああ……！！

っは一……っは一……んあ……んは……ああ……。
えへへ……おまんこ舐めてもらうの……クセになるかもお……。
お前……やっぱサイコー……。

……なー……ボクたちの交尾の方法で、相手してくれただろ？
今度はさ……人間のやり方で……ちんちんハメハメしてほしい……。
メスが仰向けになって、オスが上からのしかかるの……。
……ほら、あったら、昔。
人間が交尾してんの、ボクたちで見ちゃったじゃんか。
あれやってほしいんだ……。
ボク……お前のお嫁さんなんだから……。
お前の気持ちいいの、全部シてあげたい……。
ボクが、お前のえっちなの、全部叶えてやるんだ……。
な……いいだろ？

……もちろん……。
お前がいっぱい舐めてくれたから、いつでも入れられるよ。
お前のが……早く欲しい……。
ほら……入れて……。

ッおおお……！
っはー……んっ、ッはー……。
すげ……ッああ……温泉でシたときより……ちんちんでっかくねーかつ……。
ッはー……内側から押されて……ん……ッはー……入れただけで、すんごい気持ちいいんだけど……。

……へへ……動いていいに決まってるだろ……。
ちゃんとボクのこと、孕ませてくれよ、旦那様？

ッう……ッおお、ん、ッあ、んはっ、ッああ……！
奥ッ、っお……どちゅどちゅッ……気持ちいいッ……！
っはーっ、ッあっ、お腹、変形するッ、っあっ……！
ちんちんの形にッ、なるう……ッおあっ、んはっ、ッあー……！

んッ、ッう、んんっ、ちゅーっ？
っはーっ、んっ、したいのかっ、っあっ、んんっ……いいぞっ……！
いっぱいしてっ……！

んぢゅ、ぢゅう、んう、ちゅっ、れぢゅ、んんっ、ぢゅっ、ッはーっ、ぢゅっ、ッうう……！
んぢゅう、んっ、れりゅっ、ぢゅう、ちゅっちゅ……んふう……ぢゅぷッ、っああ……！

ッは一つ、っあっ、んう、ッおっ、んはあっ、ッあっ、好きっ……！
お前のこと、ずっと好きだったあっ……っおっ、んはあっ……やあっ……！
ちんちんっ……どんどんでっかくなってッ……！

れぢゅっ、んふう、ぢゅっぢゅ、んおっ、ぢゅう、ぢゅっぢゅ、れぢゅう、んふう……！
ぢゅぷッ、れぢゅっ、ッおっ、ぢゅっぢゅ……んぢゅうう……ぢゅっぢゅ、んぢゅッ……！
れりゅれりゅ……んふう、ぢゅっぢゅ……んぢゅうう……！

ッはっ、ッああ……愛、してるう？
人間はっ、愛してるって、言うのかあ？
ッあっ、じゃあボクもっ、絶対愛してるっ……っあっ……！
だってえっ、ッあっ、好きって言葉じゃっ、足りないもんっ……！
お前のことっ、好きで好きでたまなくてえっ……ッう、んんっ……！
もっと欲しくなるッ……お前の全部欲しくてっ……誰にも渡したくなくてえっ……！
そんでっ……お前にもッ……ボクとおんなじ気持ちでいてほしいッ……！
ボクの全部っ……お前にあげちゃってもいいんだっ……！

ッあっ……んんっ……ッは一つ……だからっ……ッは一……。
遠慮なんかすんなって言ってんだろっ……！
ボクはっ……お前が悦んでくれんのが一番うれしいんだって……！

ッおお……んほッ、ッおお……んおっ、ッは一つ、ッおっ、おほお……！
おっ、んお……やっ……恥ずかしい声出るっ、ッおお……！
奥ッ、どぢゅどぢゅされてえっ……んおッ、ッほっ、ッおお……！
変な声ッ、っおお……気持ちよすぎてッ、っおお……頭ッ、真っ白ンなるうう……！
ッおっ、んっほッ、ッおっ、好きっ、ッおっ、お前のことっ、世界で1番好きっ！
だからあっ、んっ、ッおお……お前もッ、ボクのこと好きになってッ……！
っあっ、ボクだけ見ててッ、っはっ、ッああ……！
お願いッ、ッおっ、んおっ、こんなえっちな交尾するのッ、っは一つ、ッおお……！
ボクだけってッ……約束してえっ……！

れぢゅっ、ずぢゅるう、ぢゅっぢゅ、んぢゅう、ぢゅっぢゅ……んおっ……ぢゅぷう……。
ずぢゅずぢゅっ、ッおお……んほっ、ぢゅっぢゅッ、ぬぢゅう……れぢゅれぢゅう……！

ッは一つ……えへへ……。

こっちに耳、貸してみい？

そーそー……これをなー？

こーやって……。

れぢゅうう……ぢゅっちゅ、ぬぢゆるうう……。

……ふふっ……さっき尻尾触ったお返し……。

お前、耳弱いもんな？

れぢゅれぢゅ……ぬぢゆるうう……ぢゅぷうう……。

んおっ……！？

ぢゅっちゅ、んふう、ぢゅぷッ、れぢゅれぢゅう、んおっ、ぢゅぷっ、ずぢゆるうう……。

ぬぢゅぬぢゅっ、んっ、ッおお……ぢゅっちゅ……ッおっ、おほお……！

ぢゅぷう……ずぢゅずぢゅう、んおお……ぢゅっちゅ……ずぢゆるう、ッおおお……！

好きッ、っおっ、それ好きっ……っおっ、イっちゃうっ……！

ぬぢゅっ、れぢゅれぢゅ……ッおっ……おおお……イグう……ぢゅっちゅ……んふう……。

ぢゅぷぢゅぷッ、ずぢゆるっ、ッおっ、んっほッ、おっ、らめっ……イグ……！

ぢゅぷッ、ずぢゅずぢゅぬぢゅうッ、っおっ、イクっ、おまんこイクっ……！

来てっ……精子ちょーだいっ……！

ずぢゆるっ、ッおっ、お願いしますっ、っおっ、旦那様の精子、ボクにくださいっ……！

ッおっ、イグっ、おまんこイクっ、出してっ、っおっ、おほっ……ッおおお……！！

ッおおお……！！

ッおっ……んおお……イイっ……すっごくっ、気持ちいいッ……！

っああ……ちんちん、ビクビクしてんのっ……おまんこで感じちゃうっ……！

ッはー……っはー……。

ぬぢゅうう……んはあ……ぢゅっちゅ……ずぢゆるうう……ッはー……れぢゅれぢゅ……。

ぬぢゅろおお……ずぢゆる……ぢゅば……れぢゅれぢゅ、ぬぢゆるうう……。

……っはー……。

お、まだ抜くなよ？

さっきはダメって言ったのに抜いたからな、お前……。

ちゃんとボクが孕むまで、種付け交尾してもらうぞ？

……絶対気持ちよくするからさ……な、いいだろ？

……へへ……お前がダメって言っても、放さないもん……。

だって、ボク……お前のこと、世界で一番愛してるから……。

ちゅーっ……ちゅっちゅ……れりゅ……ちゅう……。

……ボクと、つがいになってくれますよね、旦那様？